

二〇二〇年度（令和2年度）

横浜女学院中学校

A 入学試験問題

令和2年2月1日（午前）

国語

注意

- 1 監督の指示があるまで開けないでください。
- 2 問題は、18ページあります。
- 3 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 4 時間は50分です。

受験番号

氏名

— 次の文章の——線①④のカタカナを漢字に、漢字をひらがなにしなさい。また、文章中の漢字の間違まちがいを1か所ぬき出し、正しい漢字に直しなさい。

五月三日はケンポウ記念日^①だった。この日には家族総出で潮干がりに出かけた。海岸線にソ^②った道を父の運転でドライブした。私たちがひがたに付いたときには、広大な浅せが水の上に顔を出していたが、太陽がかたむくと次第に海の水もミ^④ちてきた。夕暮れのころには父母と妹とで多くの貝類をとることができた。

二 一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(字数制限のある問いは、句読点や記号も1字に数えます。)

温暖化は社会の注目を浴びているので、毎日のように新聞やテレビで温暖化のニュースを見る。そうすると人間はどうしても報道に頼^{たよ}ってしまつて、自分の頭で考えることが出来なくなる。たとえば「温暖化すると南極の水が融^とける」と言われると、そう思^①つてしまう。でも、せっかく学校で理科や算数を習っているのだから、人が言ったことをそのまま覚えるのではなく、覚える前に少しでも良いから頭を働かせたほうが良い。

たとえば、冷蔵庫の中に「冷たい所(マイナス30℃ぐらいの所)」があるとすると、その冷蔵庫の中に湯気が出ている熱い⁵お湯を入れたらどうなるだろうか。コップから出る湯気は冷蔵庫の中の冷たい所に「氷」になって張り付く。つまり、温度が零下^{れいか}の冷たい所があれば、その近くから蒸発した水は氷になって張り付くことは誰^{だれ}もが知っている。

もし、南極が温暖化するとする。実は今のところ南極の気温は変わっていないけれど、将来は温暖化するかもしれない。そうすると、南極大陸の気温も上がるけれど、大陸の周辺の海の温度も上がる。たとえば5℃上がったとしよう。南極大陸の気温はマイナス40℃以下だから、それが5℃上がってもマイナス35℃でとても冷たい。また周辺の海も5℃ぐらいいしかな¹⁰いけれど、それが5℃上がれば10℃になる。水が5℃から10℃に上がれば、水の蒸気圧(蒸発する圧力)^{※1}は、9ヘクトパスカルから12ヘクトパスカルに上がる。つまり蒸発量は30%も増える。

南極の周りで蒸発した水は、やがて空から降^②ってくる。もし蒸発した水が空にそのままいたら、空が海になってしまつから、1000グラムの水が蒸発すれば、必ず1000グラムの水が地上に落ちてくる。そしてマイナス35℃という気候なら、

雨にはならず雪だ。だから、南極大陸の周りで蒸発した水はやがて雪となって降り、それが氷になる。だから、「南極が温暖化すると、大陸はマイナス40℃がマイナス35℃になるだけだから、氷は融けない。しかし、周りの海の蒸気圧が増えるので、蒸発量が増え、それが雪になるので、南極の全体としては氷が増える」ということが分かる。

読者の中には「温暖化すると南極の氷が融ける」と思っていた人がいるだろう。その中のさらに何人かは「テレビでそう言っていたから」という理由だけの人もいるだろう。 B、僕たちは学校で理科を習っているし、日常生活でもお風呂

の温度が上がってきたら湯気が立ってくるぐらいは知っている。つまり、「水の温度が上がると、蒸発する水が増える」とか、「零下の所があると、そこに霜しもがついたり、上空に上がった水蒸気はやがて雨か雪になる」というぐらいの知識はある。それらの知識を組み立てれば「温暖化したら南極の氷は増える」ということぐらいは分かるだろう。

もう一つ、すこし理科の知識が必要な例を挙げよう。

北極の氷は南極と違って北極海ちがに浮かんでいる。北極海以外にもすこしの氷はあるけれど、大半は面積が1400万平方キロメートルもある北極海の氷だ。③「北極の氷が融けたら海水面が上がるか」という問題に取り組んでみよう。

氷は水に浮く。なぜ、同じ物質なのに氷の方が軽いのかというと、水が凍る時に体積が増えて軽くなるからだ。水が氷になるのにどのぐらい体積が増えるかというと、水面上に出ている氷の部分が「凍る時に増えた体積」だから、この氷が融けたら、海水面より下にあった氷の体積になる。だから、海水に浮かんだ氷は、融けても融けなくても海水面には影響えいきょうを与えない。

これも南極と同じで簡単な問題だが、アルキメデスの原理の意味を知っていなければならぬということでは、南極より難しいかも知れない。でも、すこし頭を働かせれば分かることだ。アルキメデスの原理は中学校で全員が習うことになっていて、多くの人が「浮力の原理」という名前だけは知っている。でも、知識はそれを現実に使って初めて意味がある。試験を受けただけで忘れるなら最初から覚えないうほうが良いくらいだ。

さて、三番目の例題に進もう。「温暖化したから海水面が上がって、ツバルが沈んで^{※2}いる」^④というのは本当だろうか？ 35
海水面が上昇^{じょうしょう}するためには、地球上のどこかから「水」が来る必要がある、それも地球の3分の2の面積を覆^{おほ}っている海のレベルを上げるのだから、かなりの水が必要である。温暖化しても南極、北極の水は海水面にはさして影響を与えないので、他の理由を考えなければならない。極地以外で地球上に氷が多いところと言えば、^{※3}グリーンランドと陸地の氷河だけでなく、グリーンランドはすぐ融けるとは考えられていない。またグリーンランドも陸地の氷だから、温暖化すると雪が増えるので、^{※4}一概に温暖化して氷が融けるとは言えない。ヒマラヤやアルプスの氷河は面積が少ないので、仮に融けても海の水面^{※4}を上げるほどにはならない。

そうなると、氷の他に、海の水面を変える要因には、4つある。1つが月のみち引き、2つめが低気圧、そして3つめが水の熱膨張^{ねつぱうちよう}、そして最後に地盤沈下^{じばんちんか}である。月のみち引きでおこる海面の上昇は場所によって違うけれど、おおよそ毎日、2メートルも変動する。でも、これは上がったたり下がったりだから、^{たいこ}太古の昔から繰り返されているので、ツバルが沈むかということとは関係が無い。

低気圧もおなじで950ヘクトパスカルの低気圧が来ると、海水面は50センチメートル上がる。これも昔からだ。また冬

に比べると夏は気温が高い（毎年の定期的な温暖化）ので、場所によって違うけれど、日本では40センチぐらい変化する。だから、自然の海水面の変動というのは実に3メートルにもなる。

これ^⑤に対して、温暖化すると海の水が温かくなり、30年で10センチメートル程度上昇すると言われている。なにしろ3メートル変動しているうちの10センチメートルというと非常に小さいので、そんな小さな変化は隠^⑥れてしまう。つまり50温暖化ではツバルが沈む可能性はないということになる。

でも、現実にはツバルの一部、フォンガファレ島の一部が沈んでいるのは確かだが、それは地盤沈下であることが分かっている。また念のために付け足しておくと、ツバル測候所のデータによると海面は若干、低下^{じやっかん}していると報告されている。

（武田邦彦『君が地球を守る必要はありません』より）

※1 ヘクトパスカル：気圧の単位。

※2 ツバル：南太平洋、ポリネシアにある島国。

※3 グリーンランド：北極海と北大西洋の間にある世界最大の島で、大部分が北極圏^{けん}に属し、島の8割以上は氷と雪に覆^{おお}われている。

※4 一概に：ひとくちに。

問一 —— 線①「そう思ってしまふ」(3行目)とありますが、これに対して筆者はどのような提案をしていますか。本文より45字でぬき出し、始めと終わりの5字を書きなさい。

問二 —— 線②「やがて」(13行目)とありますが、この言葉が適当に使われているものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 犬がやがてほえている。

イ 彼はやがて来るだろう。

ウ 北海道よりやがて寒く感じる。

エ 試合時間はやがて長い。

オ やがて夢のような出来事だった。

問三 A (17行目)、 B (20行目) に入る語句の組み合わせとして適当なものを次より1つ選び、記号で答えなさい。

ア A でも B だから

イ A でも B つまり

ウ A そして B だから

エ A だから B つまり

オ A つまり B でも

問四 ——— 線③ 「北極の水が融けたら海水面が上がるか」(26行目)とありますが、その答えとして適当なものを次より

1つ選び、記号で答えなさい。

ア 水が凍るときに増えた体積は、融けると元もとに戻るため、海水面は上がらない。

イ 温暖化によって北極の水が融けたとしても、南極の水は増えるので海水面には影響がない。

ウ 北極の水は海に浮かんでいると思われているが、実は陸地にあるため融けても海水面は上がらない。

エ 北極の水が融けるとその海水は蒸発してしまうので、かえって海水面は下がる。

オ 北極海の水は海に浮かんでいるもので、融けたら海水となるため、海水面は上がる。

問五 ——— 線④ 「ツバルが沈んでいる」(35行目)とありますが、その理由を本文より5字以内でぬき出しなさい。

問六 ——— 線⑤ 「これ」(49行目)の指し示すものはなにか、20～25字で書きなさい。

問七 —— 線⑥「隠れてしまう」(50行目)とありますが、どのような意味ですか。適当なものを次より1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 可能性がない
- イ 見落とされがちである
- ウ 注目に値する
- エ なくなってしまう
- オ 目立たないものになる

問八 筆者が最も言いたいことはどのようなことですか、本文の内容をふまえて書きなさい。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(字数制限のある問いは、句読点や記号も1字に数えます。)

クラスで人気者の諏訪慧恵(すわとしえ)は、気弱で友達の少ないワタルとの交友がきっかけで、自分自身もいじめの対象となってしまう。その中でも、小学校に入学したころから持っていた「児童会長になる」という夢をかなえるため、トシは、選挙に立候補した。児童会長選挙には、トシとワタルをいじめていたアカリも立候補していた。以下は、ワタルが応援演説をする場面である。

選挙当日、応援演説。

児童会長候補の演説は、集会の中では一番最後に行われる。ワタルの応援演説は、最後の最後で行われた。

壇上だんじょうに上ったワタルは気の毒になるくらい緊張きんちやうしていた。ぎくしゃくと不自然に動く。その様子は **A** ロボットみた
いだ。トシはすでに演説を終えていたが、自分の時よりもワタルのこのほうがずっと心配だった。おかげで自分の時はそ
れほど緊張しなかった。

① マイクを前にワタルが立つ。演説が始まった。

『こんにちは』

マイクを通して、ワタルの声が言う。その背中を見つめながら、トシは頑張がんばれよ、と心の中でエールを送る。別にもう、
トシは落選してもいい。 **B**、ワタルにはしっかりと自分の仕事をして欲しかった。

『今日は、トシちゃんの応援演説をするために、みなさんの前に立たせてもらいました。今まで、こんなふうみんなの前

で演説することはなかったの、今すごく緊張しています。でも、こんな僕が無理をしてみんなの前に出てきたのには理由があります。それは、僕はトシちゃんにすごく児童会長になって欲しいからです。……トシちゃん自身のためにも、学校のためにもです』

ワタルは息継ぎをする。一度発声してしまったことで覚悟が決まったのか、声の調子が段々と整っていく。マイクの前に顔をまた向ける。

『トシちゃんは、とてもかわいい顔をしています。スポーツ万能だし、頭もいいし、おうちもお金持ちです。お母さんはお医者さんで、お父さんは国会議員です。トシちゃんはいろんなことを知っていて、何でもできます。本当に何でもできます。20
ところで』

前を向くワタルの顔を斜めから見ていると、トシには気がつくことがあった。ワタルの顔はずっと前を見つめている。手元の原稿用紙を見ていなかった。

『ところで、話は変わりますが、トシちゃんは今クラスで仲間はずれにされています。上履きを隠されたり、この選挙のポスターも貼っても貼ってもすぐに破かれていました。でも、それはトシちゃんのせいじゃありません。俺のせいです。俺25
と、いじめているその人たちのせいです』

候補者席のアカリの手が、ピクリと動いた。ワタルは続ける。

『俺は嫌われてたから、トシちゃんは俺と仲良くしたら仲間はずれにされました。もし、トシちゃんが友達になってくれなかったら、仲間はずれにされてたのは俺一人だったと思います。俺、トシちゃんが仲間はずれにされてる間、何人かに言わ

れました。トシちゃんと友達をやめたら、ワタルくんには優しくしてあげらるって言われました。一緒にトシちゃんのことを一人ぼっちにして、はずしていじめようって。でも、それは嫌いやでした。それだけは嫌いやでした。……仲間はずれにされてもどんなひどいことされても、トシちゃんが俺と友達になったことを後悔こうかいしてないことを、俺、知ってたからです』
ワタルは長く息を吐はく。また吸まって、そして話し始める。

『トシちゃんは多分、すごく眩まぶしい光です。強すぎる光だから、みんな側に寄って来ます。何でもできる、何でも持つているトシちゃんが羨うらやましくて、みんな友達になろうとします。でも、なれない人もいます。光が強いから、それに耐たえられなくなつて、それが手に入らないことが悔くやしくて、友達をやめていく人もいます。そしてそういう人はトシちゃんのことをいじめたり、悪く言います。初めからトシちゃんとなんか友達になりたくなくなつたんだ、トシちゃんのことなんか最初から嫌いやいだつたんだと思うほうが、トシちゃん③の強い光に耐えて友達であるより、ずっとずっと簡単だからです。

でもそれは、トシちゃんのせいじゃありません』

集会の最後なのに、無駄むだ口を C 生徒が誰だれ一人としていなかった。

『俺も、トシちゃんのこと羨ましい時がたくさんあります。トシちゃんと比べて、何で俺はこんななんだろうと落ち込こむこともありました。でも俺は、トシちゃんと友達でいることに決めました。絶対にトシちゃんを妬ねたんだりしなくて済こむように、トシちゃんの友達に相応ふさわしい男になろうって決めました。

④ これはトシちゃんにも話したことがないから——』

ワタルが照れたように笑った。

『トシちゃんは今、そんなことする必要ないって言うかもしれない。それでも友達でいてくれるって言うかもしれない。でも、これはトシちゃんじゃなくて、俺の問題です。俺がトシちゃんの友達でいたいから、いたいなら追いつかなくちゃダメなんです。そうでないと、俺がトシちゃんを眩しくなって離れて行っちゃうかもしれないから。トシちゃんの悪口を言うようなことだけは、絶対にしたくありません』

ワタルが顔をふいに下に向ける。その場で目が合った先生に尋ねた。マイク越しのでかい声で。

『すみません、演説の時間もうおしまいですか。やめた方がいいですかー？』

ワタルの声に、生徒の中からどつと笑いが起こる。その時だった。体育館の後ろから「続けるー」という声が聞こえた。マイクのワタルの声に負けない、大きな、ハヤカワ先生の声だった。

「構わないよー、続けなさい。先生が聞きたい」

『ありがとう、先生』

ワタルはにっこりと笑った。先生に親指を立てるサムズアップのポーズを送った。体育館の後ろ、先生がそれに同じ手の形を返すのが見えた。

『ええと、だからね、トシちゃん』

後ろにいるトシに向けて、前を向いたままワタルは言った。

『トシちゃん、どこに行っても何になってもいいんだよー』

そう叫んだ。

『どこに行っても、何になっても、俺は絶対に追いつくから。追っかけてくから。トシちゃんの友達でいるために、ずっと努力するから。空手も勉強も頑張るから。だから、トシちゃんは後ろのことなんか見なくていいです。すごいものを手に入れて、すごい人になってください。まずは』

ワタルがとびきり大きく息を吸い込んだ。

『児童会長になってください。みんな、トシちゃんをよろしくお願いします』

そう言って、深々と頭を下げる。あたりがしんと、静かになった。

拍手が、他の演説より一呼吸遅くやってきた。それを受けて、ワタルが嬉しそうにへへっと笑う。傷だらけの顔が、まん足そうな笑顔を作った。

応援演説の内容じゃないよな、とトシは思う。応援演説はもつと、会長になったらきつとこうしてくれるとか、すごく本⁷⁰人にやる気があるとか、そういうことを訴えるためのものだ。ワタルはそこをちよつと勘違いしている。が、もうこれ以上は何もいらないと思った。

そうだよ、ワタル。後悔してない。お前と友達になれて本当に良かった。

投票後、すぐに選挙管理委員による開票作業が行われた。

給食の時間、ピンポンパンポーンの音が校舎中に響き渡る。教室の中が、急に静かになった。

選挙速報だ。選挙管理委員長の声が、結果を読み上げる。

『ただ今より、平成××年度、児童会選挙の結果をお伝えします。児童会長選挙、総投票数二百三十六、無効票十二票』
声にならない興奮があたりにみち、誰もが息をつめて、耳をそばだてるのがわかった。

『当選者、五年二組、諏訪慧恵さん、得票数百四十二票。次点、五年一組、宮崎孝平くん……』

トシの耳は信じられない思いでそれを聞いた。給食のプリンを食べようとくわえていた紙のスプーンを落としてしまいそうになった。バランスを取るふりをして、天井を仰ぐ。仰ぐと、目がぐるぐる回った。嘘みたいだった。今の間違いなんじゃないか。当選。得票数、百四十二……。

口がきけないでいるトシの横で、ワタルが立ち上がった。トシを立たせ、叫んだ。

「トシちゃん！」

まだ信じられなかった。言葉を何か一つ言うと、全てが夢で、目が覚めて消えてしまうんじゃないかと思った。

「トシちゃん！」

もう一度ワタルが言う。と、その時だった。背後で、すさまじい泣き声が上がった。なりふり構わない、いつかのワタルよりひどい泣き声。アカリだった。

放送を聞いて駆けつけてくれたのか、教室の入り口に恥ずかしそうな顔をした横田さんがやってきた。ワタルと一緒に会いに行くと、彼女の手には、サルビアの種が握られていた。

「おめでとう。公約、守ってね」

言われると、ようやく胸に実感らしい実感がわいた。人間は、自分の身体が痛くなくても、心がつらくなくても涙が出

るようにできているらしい。こみあげてきそうになった涙を、トシは懸命けんめいに堪こらえた。

クラスメートの何人かは、今度こそアカリではなくてトシに投票してくれたらしい。その日の放課後、一人の子が、ごめんね、と謝りにきてくれた。

(辻村深月『ロードムービー』より)

95

※1 横田さん：生き物係の女の子。花を植えてほしいと頼たのんでいた。

※2 公約：おおやけに約束すること。ここでは横田さんの頼みを聞いて決めた公約のこと。

問一 A (6行目)、B (12行目) にあてはまる語句の組み合わせとして適当なものを次の中から1つ選び、記号で

答えなさい。

ア A まるで B だけど

イ A そして B だけど

ウ A なんと B だけど

エ A まるで B そして

オ A なんと B そして

問二 —— 線①「マイクを前にワタルが立つ。演説が始まった」(9行目)とありますが、この前後のワタルについての説

明として適当ではないものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア トシが気の毒になるくらい緊張している。

イ トシに児童会長になってもらいたいという強い思いを伝えている。

ウ 演説を始めてから声の調子が段々と整っている。

エ 原稿用紙を見ないで前を見つめて話している。

オ トシをいじめているのは自分だと話している。

問三 —— 線②「でも、それは嫌でした」(31行目)とありますが、ワタルがトシを仲間はずれにしたくなかった理由を40字以内で説明しなさい。

問四 —— 線③「トシちゃんの強い光」(38行目)とありますが、これはトシのどのようなところをたとえた表現ですか。それを説明した次の文の空らんにあてはまる語句を、指定された字数で本文よりぬき出しなさい。

自分をトシと比べて(6字)もあるほどにトシが(15字)ところ。

問五 C (40行目)に当てはまる語句として適当なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア かむ イ たたく ウ 開く エ さわぐ オ わめく

問六 —— 線④「トシちゃんにも話したことがない」(44行目)とありますが、ワタルはなにを話したことがないのですか。適当なものを、次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア できる限りトシの友達でいようと決めたこと。

イ トシの友達に相応しい男になろうと決めたこと。

ウ 卒業までトシの友達でいることに決めたこと。

エ トシをいじめている人たちをこらしめると決めたこと。

オ いじめられているトシの味方であると決めたこと。

問七 —— 線⑤ 「ワタルはそこをちょっと勘違いしている」(71行目)とありますが、トシはなぜそのように考えているのですか。適当なものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア ワタルは、トシに対しての自分の思いを伝えてばかりだったから。

イ ワタルは、演説の時間を守らないでスピーチを続けてしまったから。

ウ ワタルは、児童会長の役割について何も知らなかったから。

エ ワタルは、演説をした後に大きな拍手をもらって喜んでしまったから。

オ ワタルは、自分がいじめられているとうったえるために演説してしまったから。

問八 —— 線⑥ 「実感らしい実感」(92行目)とありますが、どのようなことに対する実感ですか。10字程度で答えなさい。

問九 このあとトシは児童会長として、どのような考えでどのような学校をつくりあげるでしょうか。あなたの考えを100字以内で書きなさい。